

久留米市立地適正化計画 Q&A (よくある質問)



◆立地適正化計画について、よくある質問について記載します！！

立地適正化計画ってどんな計画？

- 「立地適正化計画」は、人口減少や少子高齢化が、今後、加速度的に進行することを踏まえ、商業・医療などの生活関連サービス施設を住民が集まりやすい地域に維持・誘導することで、暮らしやすく、コンパクトなまちづくりを中長期的に目指す計画です。

「立地適正化計画」では、以下の項目を定めます。

○立地適正化計画の区域や基本的な方針

○居住誘導区域

〔生活関連サービスやコミュニティが維持できるように、一定の人口密度を維持する区域〕

○都市機能誘導区域

〔医療、福祉、商業などの生活関連サービスを効率的に享受できる区域〕

○都市機能増進施設（都市機能誘導施設）

〔郊外部を含めた地域生活圏全域の住民が暮らしやすいように、都市機能誘導区域へ維持する生活関連サービス施設〕

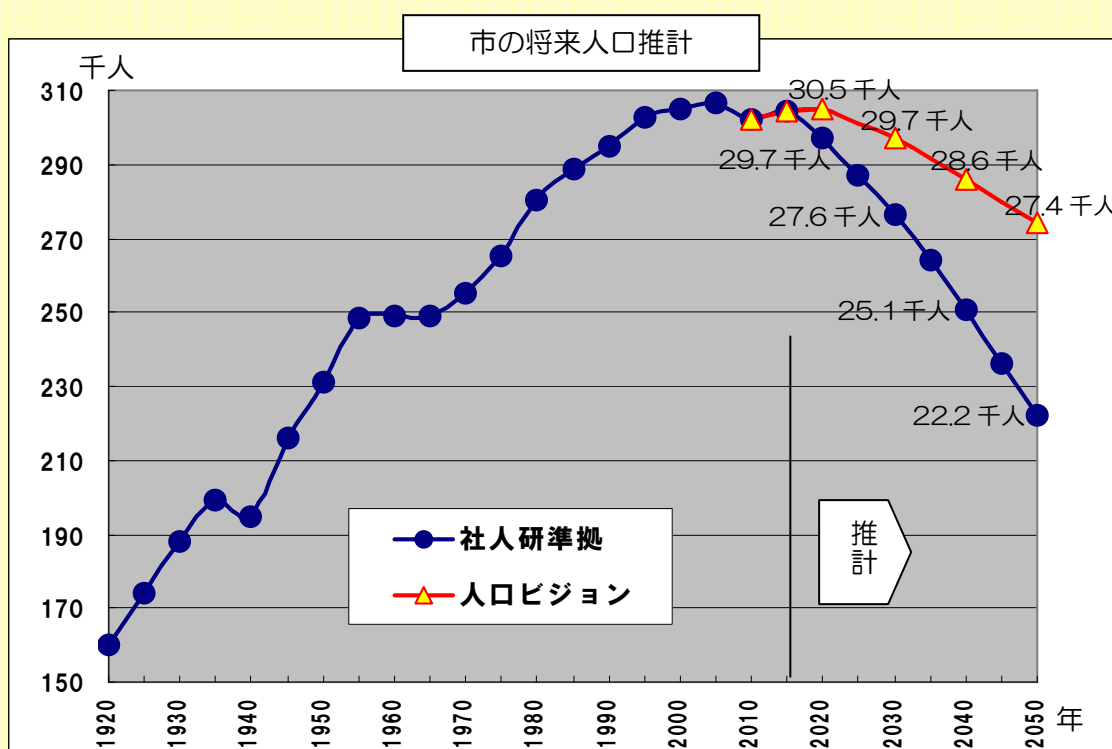
○目標値と誘導施策

〔暮らしやすい、コンパクトなまちづくり実現へ向け、具体的な施策を定めるとともに、その達成状況を評価するための目標値を設定する〕

- ※ 立地適正化計画を策定することで、国の支援策などを活用することが可能となります。

久留米市の人口はどうなるの？

- 過去の傾向に基づき推計した、国立社会保障人口問題研究所（社人研）の準拠値では、2050年の市の将来人口は、約22万2千人となっています。
- 一方、将来展望を示した「久留米市人口ビジョン（2015年）」では、出生率の上昇や移動人口の均衡などを目指すことで、2050年度末の展望を27万4千人としています。
- 何れも、市の将来人口については、減少することが想定されます。このことを踏まえ、立地適正化計画は、社人研準拠値から課題を分析します。



人口が減ると、何が問題なの？

- このような問題が出てくると考えています。

生活サービス施設の縮小	スーパーや病院がなくなって不便。市街地の求心力が低下し活気がなくなった。
公共交通の縮小	身近なバス路線が廃止された。車も持っていない。移動が大変だ。
コミュニティの低下	地域活動の担い手が減った。ひとり暮らしのお年寄りが増えた。地域のつながりが弱くなりそう。
空家・空地の増加	見た目がよくないし、防犯上も大丈夫？
行政サービスの低下	道路や橋の維持管理が間に合わない。

ネットワーク型のコンパクトな都市づくりとは？

- 人口減少社会においても、人口密度と生活サービス施設を維持するコンパクトな拠点を形成し、その地域間の移動手段（ネットワーク）を維持・充実させることで、相互に機能を補完し、市域全体で持続可能な都市をつくることです。
- 市は、「ネットワーク型のコンパクトな都市づくり」を進めるため、都市づくりの基本方針を示した「久留米市都市計画マスタープラン（2012年）」を作成し、目指すべき都市像を「コンパクトな拠点市街地の形成と拠点をネットワークする都市構造」と位置付け、都市づくりを進めています。
- 拠点については、市域の各地域に存在する日常生活圏の中心となる地域（地域生活拠点）や、市の中心的役割を担う地域（中心拠点）となります。

なぜ、今、計画をつくるの？

- 今後、人口減少と高齢化が加速度的に進行することが想定されており、このことを踏まえた都市づくりが必要となっています。このような都市づくりは、長期的な時間軸の中で目指すこととなるため、今から、将来を見据えたまちづくりを考える必要があります。

居住誘導区域がなぜ必要なの？

- 商店や医療、交通などの多くのサービスは、利用者がいなければ成り立ちません。このため、人口減少が進むなかでも生活関連サービス施設やコミュニティが維持できるように、一定のエリアにおいて人口密度を維持していく区域が必要です。

都市機能誘導区域がなぜ必要なの？

- 各地域にお住まいになっている方が、それぞれ効率よく生活関連サービスを享受できるように、集まりやすい区域に生活関連サービス施設を維持することが必要です。

●その他都市計画に関するお問合せ●

久留米市役所 都市建設部 都市計画課 都市計画・景観チーム

TEL：0942-30-9083

FAX：0942-30-9714

E-mail：toshikei@city.kurume.fukuoka.jp

